○ 体育科の内容はどのように改訂されたのか。

1 内容改善の視点

(1) 指導内容の明確化・体系化

基礎的な身体能力を身に付け、運動を豊かに実践していくための基礎を培う観点から、発達の段階に応じた指導内容の明確化・体系化を図る。

- ・ 「基本の運動」については、高学年への系統性を明らかにするため、「内容」として示していたものを「領域」として示した。
- ・ 各運動領域において、指導内容を整理し、当該学年で身に付けさせたい具体的な内容を明確に示した。

※ 参考

小 学	· 校	中 学	校	高 等 学 校
1 ~ 4年	5・6年	1・2年	3年	1 ~ 3年
・各種の運動の基礎を培う時期	・多くの領域の学習を経験する時期		・卒業後に少なくとも一つの運動 やスポーツを継続することができ	
【基礎的学習】 ・多様な身体感覚 ・易しい運動遊びやゲーム	【選択学習への準備】 ・本格的なスポーツの習得			<u>する時期</u> 【選択学習】 ポーツの獲得 楽しみ方の実践

※参考例 小学校5・6学年 ボール運動 (バスケットボール)

[現行] ア 相手の攻撃を阻止するためのいろいろな防御の仕方を身に付ける。

JT.

[新]・ボールを保持する人とゴールの間に体を入れて相手の得点を防ぐこと。

(2) 体力向上の重視

運動する子どもとそうでない子どもの二極化の傾向や子どもの体力低下が依然深刻な問題となっているため、すべての運動領域で適切な運動の経験を通して、一層の体力向上を図ることができるよう指導のあり方を改善することとする。

・ 「体つくり運動」は、基本的な動きを培うことをねらいとして低学年から示すとともに、 第1学年から第6学年のすべての学年において指導する

(3) 領域の取上げ方の弾力化

指導内容の確実な定着を図ることができるよう、運動の取上げ方を一層弾力化し、低・中・ 高学年に示されている「体つくり運動」以外のすべての指導内容について、2学年のいずれか の学年で取り上げ指導することができる。

2 内容はどのように改訂されたのか。

領域構成

学年	現行学習指導要領	関連	新学習指導要領
	A 基本の運動 2領域		A 体つくり運動 6領域
	a 走・跳の運動遊び		ア 体ほぐしの運動
	b 力試しの運動遊び	\	イ 多様な動きつくりの運動遊び
	c 器械・器具を使っての運動遊び	\rightarrow	B 器械・器具を使っての運動遊び
		X	ア 固定施設を使った運動遊び
	d 用具を操作する運動遊び		イ マットを使った運動遊び
1	e 水遊び 	\	ウ 鉄棒を使った運動遊び
	f 表現リズム遊び		エ 跳び箱を使った運動遊び
		/ /	C 走・跳の運動遊び
•	В ゲーム		アをの運動遊び
	a ボールゲーム		イ 跳の運動遊び
	b 鬼遊び	/ /	D 水遊び
2			アー水に慣れる遊び
			イ 浮く・もぐる遊び
		/ /	E ゲーム
			ア ボールゲーム
		\	イ 鬼遊び
		1	F 表現リズム遊び
			アー表現遊び
			イ リズム遊び
	【90時間】	\longrightarrow	【1年生:102時間】
		->	【2年生:105時間】
	A 基本の運動 5領域		A 体つくり運動 6領域
	a 走・跳の運動		ア 体ほぐしの運動
	b 力試しの運動	*	イ 多様な動きをつくる運動
	c 器械・器具を使っての運動 ―	7	B 器械運動(3年)
	(3年)		ア マット運動 イ 鉄棒運動
	d 用具を操作する運動	ľ X.	ウ跳び箱運動
	e 浮く・泳ぐ運動(3年) ———	/ 4	C 走・跳の運動
3	В ゲーム		アかけっこ,リレー
	a バスケットボール型ゲーム		イ 小型ハードル走
	b サッカー型ゲーム		ウ 幅跳び エ 高跳び
•	c ベースボール型ゲーム	/ \	D 浮く・泳ぐ運動
	C 器械運動 (4年) ————————————————————————————————————	X .	ア 浮く運動 イ 泳ぐ運動
	ア マット運動 イ 鉄棒運動		E ゲーム
4	ウー跳び箱運動		ア ゴール型ゲーム
	D 水泳 (4年) ————————————————————————————————————	ľ	イ ネット型ゲーム
	ア クロール イ 平泳ぎ		ウ ベースボール型ゲーム
	E 表現運動	 	F 表現運動
	ア 表現 イ リズムダンス		ア 表現 イ リズムダンス

	F 保健(2学年で6時間) (1) 毎日の生活と健康(3年) (2) 育ちゆく体とわたし(4年)	2学年で8時間程度	G 保健(2学年で6時間) 満い脚された榕 (1) 毎日の生活と健康 ア 健康な生活とわたし(年齢)
	【90時間】	 	【105時間】
5 . 6	A 体つくりの運動 6領域 ア 体ほぐしの運動 イ 体力を高める運動 B 器械運動 ア マット運動 イ 鉄棒運動 ウ 跳び箱運動 C 陸上運動 ア 短距離走・リレー及びハードル走 ウ 走り幅跳び及び走り高跳び D 水泳 ア クロール イ 平泳ぎ E ボール運動 ア バスケットボール イ サッカー ウ ソフトボール エ ソフトバレーボール F 表現運動 ア 表現	90	A 体つくりの運動 6領域 ア 体ほぐしの運動 イ 体力を高める運動 B 器械運動 ア マット運動 イ 鉄棒運動 ウ 跳び箱運動 C 陸上運動 ア 短距離走・リレー イ ハードル走 ウ 走り幅跳び エ 走り高跳び D 水泳 ア クロール イ 平泳ぎ E ボール運動 ア イ ジントスボール型 ウ ベースボール型 ウ ボール型 ウ ボール型 ト 表現運動
6	テ 表現 イ フォークダンス G 保健(2学年で16時間) (1) けがの防止(5年) (2) 心の健康(5年) (3) 病気の予防(6年)	2学年で16時間程度	F 表現 イ フォークダンス (日本の民踊を含む) G 保健(2学年で16時間) 嫌い(動は体 熔 (1) 心の健康(5年) (2) けがの防止(5年) ア 身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがとその防止(追加) (3) 病気の予防(6年) オ 地域の様々な保健活動の取組